7b-7.10.4　記憶媒体のセキュリティを保った再利用又は処分の管理策の実施については、次の事項を考慮する。

a）秘密情報を含む記憶媒体を組織内で再利用する必要がある場合には、セキュリティを保ってデータを消去するか、又は再利用する前に記憶媒体をフォーマットする。

b）秘密情報を含む記憶媒体は、必要でなくなったときはセキュリティを保って処分する。

c）セキュリティを保った処分を必要とする可能性のある品目を特定する手順をもつ。

d）多くの業者が、記憶媒体の収集及び処分のサービスを提供している。十分な管理策及び経験をもつ適切な外部の供給者を選定することに、注意を払う。

e）監査証跡を維持するために、取扱いに慎重を要する品目の処分を記録しておく。

f）処分のために記憶媒体を集める場合、集積することによる影響に配慮する。取扱いに慎重を要する情報ではない情報でも、その量が集まると、取扱いに慎重を要する情報に変わる場合がある。

7b-7.10.5　取扱いに慎重を要するデータを含んだ装置・機器が損傷した場合には、リスクアセスメントを実施し、修理又は廃棄に出すよりも物理的に破壊する方が望ましいか否かを決定する。

7b-7.11　サポートユーティリティ

管理策：情報処理施設・設備は、サポートユーティリティの不具合による、停電、その他の中断から保護する。

目的：　サポートユーティリティの故障及び中断・阻害による情報及びその他の関連資産の消失、損傷若しくは侵害、又は組織の運用の中断を防止するため。

詳細管理策

7b-7.11.1　組織は、情報処理施設・設備をサポートするユーティリティに依存している。そのため、組織は次の事項を行う。

a）ユーティリティを支援する装置を、関連する製造業者の仕様に従って構成し、操作し、保守することを確実にする。

b）ユーティリティが事業の成長及び他のサポートユーティリティとの相互作用に対応する能力を、定期的に評価することを確実にする。

c）ユーティリティを支援する装置が適切に機能することを確実にするために、定期的に検査し、試験することを確実にする。

d）必要であれば、ユーティリティの不具合を検知するための警報装置を取り付ける。

e）必要であれば､物理的な経路が異なる複数の供給元をユーティリティに備えることを確実にする。

f）ユーティリティを支援する装置がネットワークに接続されている場合、情報処理施設・設備から分離したネットワーク上にあることを確実にする。

g）ユーティリティを支援する装置を、必要な場合だけ、かつ、セキュリティを保った方法でだけインターネットに接続することを確実にする。

7b-7.11.2　サポートユーティリティのための非常用の照明及び通信手段を備える。

7b-7.11.3　非常口又は設備室の近くに、電源、給水､ガス又はその他のユーティリティを遮断するための緊急スイッチ及び緊急バルブを設置する。

7b-7.11.4　緊急連絡先の詳細を記録し、停止した場合に要員が利用できるようにする。

7b-7.12　ケーブル配線のセキュリティ

管理策：電源ケーブル、データ伝送ケーブル又は情報サービスを支援するケーブルの配線は、傍受、妨害又は損傷から保護する。

目的：　電源ケーブル及び通信ケーブルの配線に関連した､情報及びその他の関連資産の消失、損傷、盗難又は侵害、並びに組織の運用の中断を防止するため。

詳細管理策

7b-7.12.1　ケーブル配線のセキュリティのために、次の事項を考慮する。

a）情報処理施設・設備に接続する電源ケーブル及び通信回線は、可能な場合には、地下に埋設するか、又は床ケーブル保護装置、電柱など、これに代わる十分な保護手段を施す。ケーブルが地下にある場合は、偶発的な切断から保護する。

b）干渉を防止するために、電源ケーブルは、通信ケーブルから隔離する。

c）取扱いに慎重を要するシステム又は重要なシステムのために、次の追加の管理策の採用を検討する。

1）外装電線管の導入。点検箇所・終端箇所の施錠可能な部屋又は箱への設置及び警報装置の設置

2）ケーブルを保護するための電磁遮蔽の利用

3）ケーブルに取り付けられた認可されていない装置・機器を検知するための定期的な技術的探索及び物理的検査

4）配線盤、端子盤及びケーブル室への管理されたアクセス

5）光ファイバーケーブルの使用

d）ケーブル配線の物理的識別及び検査を可能にするために､ケーブルの各端に始点及び終点に関する十分な詳細情報をラベル付けする。

7b-7.12.2　ケーブルに関するインシデント又は不具合から生じるリスクを管理する方法について、専門家の助言を求める。

7b-7.13　装置の保守

管理策：装置は、情報の可用性、完全性及び機密性を維持することを確実にするために、正しく保守する。

目的：　不十分な保守による、情報及びその他の関連資産の消失、損傷、盗難又は侵害、並びに組織の運用の中断を防止するため。

詳細管理策

7b-7.13.1　装置の保守のために、次の事項を考慮する。

a）装置は、供給者の推奨するサービスの頻度及び仕様に従って保守する。

b）組織の保守プログラムを実施し、監視する。